

Mirare Kanayamachi

ミラレ金屋町2018

芸術文化学部地域連携プロジェクト

富山大学芸術文化学系 准教授 横山 天心



■金屋町楽市inさまのこからミラレ金屋町へ

高岡鋳物発祥の地・金屋町で2008年に始めた「金屋町楽市inさまのこ（以下楽市）」は、2017年度で10回目となりました。10年の節目を契機に、ゾーンミュージアムとしての工芸品の展示だけでなく、これまで金屋町楽市を陰で支えてくださった金屋町の住民が主体（パフォーマー）となり、金屋町の魅力を来訪者に見て、知って、体験してもらおうイベントにシフトすることになりました。イベント名称も住民とのワークショップで話し合い、「～してみてください」という意味の地元の方言「ミラレ」を名称の冠としました。運営トップも刷新し、これまで金屋町楽市を牽引された、加藤昌弘委員長、武山良三副委員長から、嶋田一成委員長、横山天心副委員長に代替わりしました。

来訪者に単純に伝統的な建物を“見る”だけではなく、実際に金屋町の通りを巡り、住民と会話し、その文化に触れ合うことで、町家に暮らす人々のリアルな生活を体感してもらうために、新たに「まちづくりプレゼ」「おもてなしガイドツアー」「金屋町交流スペース」を企画しました。「まちづくりプレゼ」においては、「町家ビフォーアフター」で石畳通りを中心に文化庁の修理・修繕事業により復元された町屋の外観を紹介し、「オープン空家」では空家を学生達で整理整頓し、お香や音楽で気持ちよく町家の隅々まで内覧できるようにしました。「おもてなしガイドツアー」においては、「空き家ツアー」で元気プロジェクトのメンバーが解説しながらオープン空家を巡り、「藤さんぽ」で藤グループメンバーが金屋町の魅力を余すところなく紹介し、「ミナイト金屋町」でライトアップされた石畳通りを巡り、夜の金屋の魅力をアピールしました。「金屋町交流スペース」には、住民と学生がお茶とお菓子で来場者をもてなし、自然とコミュニケーションが取れるようにしました。

また作品展示においては、金屋町楽市では工芸品が主役で町屋は背景として扱われてきましたが、ミラレ金屋町では工芸品が町屋のアクセントとして扱われ、来訪者により建物の魅力や暮らしを体感してもらえるようにし

学生が企画・実施する着物ファッションショー「MIRAREこれくしょん」

ました。さらにワークショップも数を倍増し、いろいろなところで工芸品の制作体験ができるようにしました。

ミラレ金屋町は、芸術文化学部のプロジェクト授業として実施しており、2018年度は26名の履修がありました。それぞれの学生が学んでいる専門性に合わせて担当を決めて取り組みました。楽市の人気企画であった着物ファッションショーは「MIRAREこれくしょん」として継続し、夏休み期間中に十分な時間をかけて練習を行いました。金屋町の住民で日本舞踊師範の政地真実氏から基本的な所作や振り付けの指導を受け、本番では観客から拍手がおこる程の出来映えとなりました。新企画の「職人これくしょん」ではカロエ高岡の職人さんが仕事道具と共にウォーキングし、伝統産業を支える職人の魅力をアピールしました。

年々事業予算が縮小し、金屋町の世帯数も半減するなどイベントを取り巻く環境が大きく変化してきています。これまで育まれた「地力」を資源として、地域の方々が主人公となるような取り組みを目指して、今後も連携に努めていきたいと思えます。また今後はイベントのための一過性の事業ではなく、金屋町の魅力を高めるための通年事業として取り組み、その成果をミラレ金屋町で存分にアピール出来るようにしていきたいです。

—ミラレ金屋町 2018—

[開催日]

平成30年9月22日（土）、23日（日）

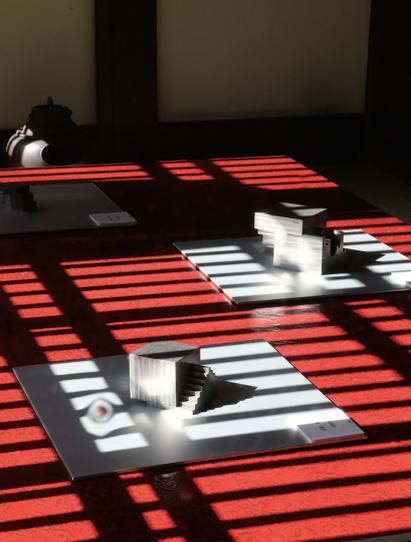
[開催場所]

高岡市金屋町一帯（石畳通り及びその周辺）

[主催]

ミラレ金屋町実行委員会

以下構成団体：富山大学芸術文化学部、金屋町自治会、富山ガラス工房、高岡市デザイン・工芸センター、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、高岡市、高岡市教育委員会、高岡市観光協会、高岡商工会議所



左：般若家の展示、右：金森藤平家の展示

学生と元気プロジェクトメンバーによる「空家ツアー」

[後援]

北日本新聞社

[協力] 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会、金屋町七福会、株式会社玉川堂、越中瀬戸焼 かなくれ会、株式会社北陸銀行、高岡信用金庫、一般財団法人北陸予防医学協会、山元醸造株式会社、ケアホームみどり、ノースランド株式会社

[協賛]

三協立山株式会社、三芝硝材株式会社、和楽庵、藤岡敦子礼法きもの学院、片山文三郎商店

[運営]

総括：嶋田一成、企画：横山天心、街区設計・什器設計：渡邊雅志・横山天心・萩野紀一郎、ガイドツアー：藪谷祐介、展示：三宮千佳・畠春斎・大寺康太・高川昭良・野田雄一、お茶席：小泉昇・般若陽子

[事務局]

高岡市産業振興部商業雇用課

[工芸作品展示出展作家]

・実行委員会推薦作家

伊藤慎、加藤貢介、クリエイティブ、高橋賢悟、野田雄一、畠春斎、光井威善、宮崎匠、武蔵川裕実、望月菊磨、かんか

・富山ガラス工房

金東希、古賀雄大、小寺暁洋、小林洋行、清水彩伽、下田顕生、鈴木亜希子、東南早織、三野直子、森智広、吉積彩乃、ワタナベサラ、和田修次郎

・金沢職人塾

青木小波、太田正伸、大竹喜信、高田千春、増田守世、鶴見晋史

・公募作家

井上洋孝、岩本清商店、狩野博恵、木和田里美、平尾健、本間友幸、松村潔、森和彦

[開催事業]

●町並みと暮らしのギャラリー

小泉家、畠家、金森藤平家、般若家、さまのこハウス

●まちづくりプレゼ

・町家ビフォーアフター（町家の改修前と後を軒先に展示）：富山大学芸術文化学部

・芸文のオープンキャンパスin金屋町（春木家での芸術文化学部紹介ブース）：富山大学芸術文化学部

・オープン空家（空家の鍛冶家、串田家、藤田家、金森家、関家を開放）：金屋町元気プロジェクト+富山大学芸術文化学部

●おもてなしガイドツアー

・空き家ツアー（空家を巡るツアー）：金屋町元気プロジェクト+富山大学芸術文化学部

・藤さんぽ（町巡りツアー）：藤グループ+富山大学芸術文化学部

・ミナイト金屋町（夜ならではの金屋町の魅力を巡るツアー）：富山大学芸術文化学部

●金屋町交流スペース（鋳物資料館前、山田商店前）：金屋町自治会

●金屋町茶会

・「やさしい立礼席」席主：般若陽子/さまのこハウス

・「おもてなし席」席主：小泉昇/小泉家

・「あおぞら席」席主：富大芸文茶道部/緑地公園

●ワークショップ

・錫の鋳物：鋳物工房 利三郎

・錫アクセサリー：大寺幸八郎商店

・とんぼ玉、万華鏡：富山ガラス工房

・錫、木と革、風：富山大学芸術文化学部学生有志

・蒔絵：金沢職人塾

・ストラップ、箔貼り：カロエ高岡

・四国遍路衣装体験、丹波篠山の陶芸体験、島根たたら製鉄体験：日本遺産サミットin高岡

●MIRAREこれくしょん（テーマ i 花帯、ii ハイカラ Mix、iii 職人これくしょん）：富山大学芸術文化学部生

●町家ライトアップ：富山大学芸術文化

●金屋町小唄：玉葉会

●弥栄節披露：弥栄節保存会

●グルメ横丁：金屋町七福会